

# 「不易流行」

よき伝統を守りながら(不易)

進歩に目を閉ざさないこと(流行)によって、

「理想」を創造する

## 『江府町オリジナル 温かみのある成人式』

平成29年度の成人式が山村開発センターで厳粛にそして盛大に挙行されました。江府町では、現在江府町民もしくは江府中学校卒業者が成人式に出席できます。本年度の対象者は27名。うち25名が出席されました。人数は少なくなっていますが、出席率は93%ととても高くなっています。私はこのことには理由があると思っています。それは、成人とされた若者一人ひとりを、家族や地域の人、そして行政が大切にしているからだと思えます。式典には成人者を取り囲むように、家族の皆さん、町会議員や教育委員、そして小中学校時代の先生たちが座り、温かい目で見守っています。式典の最後には、地元の「アイリス合唱団」がお祝いの歌をプレゼントします。保育園から中学校卒業まで江府町での生活を記録、編集したビデオを見た後、地元の旅館やお店、グループが

平成29年度 江府町成人式



趣向を凝らした料理でのパーティ。

今年は、10年前に小学校敷地に埋めたタイムカプセルを掘り出し、会場で成人者一人ひとりに手渡すイベントがあり、参加者全員で盛り上がりました。小さな町だからできる、手作りの温かいぬくもりのある成人式。江府町の伝統としてこれからも大切に守り続けて行きたいものです。

さて、平成11年12月に完成した工バードランド奥大山も、1年後には満20歳になります。当時はビル工場もあり地域振興株式会社が運営していました。平成20年度から町の運営となりました。今後はスキー場を含めて指定管理者を探すこととなります。新たな体制で成人を迎え、町民の皆さんや利用者の皆さんに祝福していただけるよう努力していきますので、ご理解とご協力をお願いします。

## 「3000人の楽しい町」 プロジェクトチーム報告

新しい庁舎の建設に向けて、プロジェクトチームでは住民の皆様の声を反映させた「提案書」を作成しています。その中で、新庁舎に多目的ルームを設けることを提案のひとつとしていますが、一方で、既存の山村開発センターや防災情報センターにも広いスペースがあり、新庁舎には必要のないのではないかと声をいただきました。日輪閣や特産品研究加工施設、高齢者創作館といった既存の施設は、十七夜や成人式、コンサートといった各種イベントや会議をはじめとして、住民の皆様には様々な用途で利用していただいています。これらの施設も新庁舎と併せて考えなければなりません。

去る1月29日(月)に開催したワークショップでは、「提案書の内容確認と既存の施設についての現状を確認しつつ、施設の今後について意見を出し合っていたきました。

「利用される方や団体がほとんど決まっていって多くの住民は利用していない」、「施設そのものを知らない住民の方もおられるのではないか」という意見や、施設の老朽化が進んでいる、それぞれの場所が離れ

ていて使いづらいという問題点も挙がりました。

また、老朽化した施設をこのまま残していても、維持に費用がかかるばかり。今後は、思い切った古くなったものを取り壊し、駐車場や住宅用地にすればよいのではないかとこの意見や、反対に、いまの施設を活かすため、町内外に広く周知して活用についてのアイデアを募集する、企業や使いたい方に貸し出せるオフィスにする、という意見もいただきました。

施設の統合、廃止、再利用……どれをとるべきか考えるには、公共施設の「いま」を整理することが欠かせません。新しい庁舎の建設が始まるうとしてこのタイミングこそ、改めて公共施設はどうあるべきか、どう使うべきか、同時に、私たち町民のくらし全体を見直すよききっかけとなるのではないのでしょうか。プロジェクトチームでは、今回のワークショップの内容を整理し、今後の検討内容にしようと考えています。ぜひ、ワークショップにお出かけください。

動画で町報こうふ!



以前の報告会の様子は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。